

生産効率がUPする! 「呉・生産技術セミナー」メカトロ編

2013年7月17日(水) 排気・集塵の基礎知識

講師



アマノ株式会社 サービス事業本部企画課長 三村 修氏
アマノ株式会社 広島環境支店 田村晋吾氏

「局所排気装置と集塵機～関連法令、日常・定期点検とトラブル解決」をテーマとした、排気・集塵の基礎知識を学ぶセミナーを、アマノ(株)サービス事業本部課長の三村氏を講師に迎え、呉信用金庫ひとづくりセンターで開催しました。

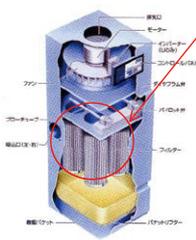
まずはじめに、局所排気装置と集塵機の基礎的な知識として構造、装置、関連法令の解説がありました。じん肺などの粉じん障害を防止する労働安全衛生法や、設置に関する労働基準監督署への届出、また装置の定期的な点検の重要性も説明されました。毎週または毎月1回の点検や、1年に1回の定期自主点検の必要性などを学びました。

次に集塵機の点検について説明がありました。集塵機本体やフィルター、差圧計の目視による日常点検方法やフィルター交換目安、また年1回の定期自主点検の検査箇所と方法について学びました。

受講者からは、「日常点検について、重要視していませんでした。戻ったら早速してみます」「初期設定時の吸引量を測定しておくで後々のメンテナンスに役立つことができました」「じん肺の危険性を再認識しました」「コバルトやインジウム化合物に対して来年から障害防止措置の義務付けを初めて知った」など、日常から集塵機に接していても見過ごしがちなポイントや新たな情報を学習できたとの感想をいただきました。

Point 日常点検は各部の目視から

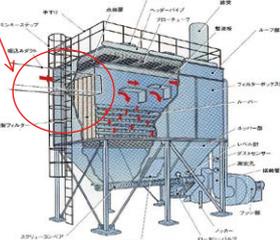
小型集塵機



運転中に確認

箇所	内容
フィルター部	差圧は正常か 1.5kPa~2.0kPa 以内
	払落しは正しく動作しているか
	点検口にエアリークは無い
確認	差圧計 目視/聴診

大型集塵機



差圧計

アナログ



左右の水の差を記録

マスターゲージ



表示値をそのまま記録

デジタル表示



表示値をそのまま記録

フィルター交換の目安について フィルター圧損の上昇でファン使用点の静圧を超えてしまう場合!

試運転結果等から集塵機圧力損失を把握する。
ファン性能曲線を使用して各集塵機の異常値を決定する。

異常値に達した場合集塵機停止のバース運転を実施する。
(集塵機停止でのバース運転の方が払い落とし効果は大きい)

運転再開後、フィルター圧損が殆ど下がらない場合
フィルター交換の準備、フィルター交換を実施します。



Point 2014年1月1日からコバルト及びその無機化合物・インジウム化合物の健康障害防止措置が義務付けられます。

※但し、コバルトを含有する合金を素材とする工具を通常の使用法により用いて、他の金属等の加工等を行う作業は対象になりません。

地域に密着! 生産技術商社

Mitsuya ミツヤ産業(株)

呉 本社 TEL(0823)21-8111 FAX(0823)25-1226
東広島営業所 TEL(082)421-4126 FAX(082)421-4128
福山営業所 TEL(084)932-2438 FAX(084)926-3137